

# 新たな北海道総合開発計画の目標(案)について

---

国土交通省北海道局  
令和4年9月12日

# 新たな北海道総合開発計画の策定に向けて（主な視点・論点等）

## 北海道開発の基本的意義

北海道の資源・特性を活かして、その時々 of 国の課題の解決に貢献

### 新たな計画策定の背景

#### (1)潮流：感染症等による社会の変化

- ・我が国の人口減少・高齢化
- ・気候変動と自然災害の激甚化・頻発化
- ・国際環境の変化と資源需要の増大
- ・社会を変える新技術

#### (2)政府の政策課題の変化

- ・2050年カーボンニュートラル
- ・デジタル田園都市国家構想

### 北海道のポテンシャル

①**広大な大地** 広域分散型の地域構造 等

②**食料供給力** 国内自給カロリーの1/4を占める食料生産力 等

③**資源・エネルギー** 豊富な再生可能エネルギー、全国の1/5を占める森林面積 等

④**自然・環境・文化** 特色ある豊かな自然環境、縄文文化、アイヌ文化 等

⑤**地理的特性、寒冷地技術** 最北端、北方圏に位置する地理的特性、積雪寒冷地技術 等

### 2050年における北海道のあるべき姿

#### 2050年の北海道

生産年齢人口の減少、カーボンニュートラルの実現 等

#### 役割① 分散型国づくりを支える地方創生を先導する

- ・地域で生まれ、育ち、安心して暮らしていくことのできる社会 等

#### 役割② 我が国の食料安定供給を支える

- ・高い食料生産力を有する農水産業・食関連産業

#### 役割③ 我が国の脱炭素化を先導する

- ・脱炭素社会を実現し、再生可能エネルギー基地となる

#### 役割④ 北海道の自然環境・文化を受け継ぐ

- ・北海道独自の文化を保全し、受け継ぐ 等

#### 役割⑤ 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりを図る

- ・大規模災害から生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持し、我が国の食やエネルギーの供給等を支える 等

#### 役割⑥ 競争力のある産業を育成し、日本の経済成長に貢献する

- ・世界市場を見据えた「食」「観光」「再生可能エネルギー」産業の形成

### 2050年を見据えた次期計画における意義

- I.食・エネルギーの生産力・供給力の向上により、国の安全保障に貢献
- II.ポテンシャルの高い戦略的産業で経済成長
- III.デジタル技術の活用等により分散型国づくりに適応した北海道型地域構造を発展
- IV.強靱なインフラの構築により我が国の経済・社会の安心・安全を支える

#### 計画期間：おおむね10年を想定

- ・次の10年は、2050年の北海道の姿を決める正念場の10年
- ・挑戦と共創、鍵となるDX、GXの取組により、未来のための土台（多様な主体の活躍、社会システムの変革等）を創る10年

### 【論点】

①次期計画の目標（案）の考え方について

②目標（案）を踏まえた主要施策（案）について

## 論点① 次期計画の目標（案）の考え方について

北海道開発の意義、北海道のポテンシャルを踏まえて、我が国の豊かな暮らしを支えるために北海道が果たすべき役割を強化するとともに、北海道が我が国に貢献するための土台を固め、北海道の価値をさらに高めるため、以下の2つの目標（案）を設定してはどうか。

### 我が国の豊かな暮らしを支える北海道

～食料安全保障、脱炭素化、観光立国等を先導

【関係する主要施策】

農林水産業・食関連産業の持続的な発展、脱炭素社会の実現、観光地の形成、地域の強みを活かした産業の育成、豊かな自然と共生、北方領土隣接地域等の振興、アイヌ文化の振興等

### 北海道の価値を生み出す北海道型地域構造

～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり

【関係する主要施策】

生産空間の維持・発展、人流・物流ネットワークの形成、多様で豊かな地域社会の形成、生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

## 論点② 目標（案）を踏まえた主要施策（案）について

計画の目標(案)	主要施策(案)	施策の検討項目
<b>1. 我が国の豊かな暮らしを支える北海道</b> ～食料安全保障、脱炭素化、観光立国等を先導	(1)食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展	①我が国を先導する農林水産業の生産力強化 ②国内外のマーケットに対応したバリューチェーンの構築 ③持続可能な農林水産業の展開 ④農林水産業の持続性を支える農山漁村の振興
	(2)地球温暖化対策を先導する活力ある脱炭素社会の実現	①北海道の地域特性を活かした持続可能な脱炭素社会の形成 ②エネルギー基地の形成 ③北海道のCO2吸収力の発揮
	(3)世界トップクラスの観光地の形成	①世界市場に向けた新たな観光コンテンツの創出と観光の生産性向上 ②多様な旅行者の受入環境の整備と地方部への年間を通じた誘客の実現 ③持続可能な観光地域づくりによる自然環境・文化の保全と観光の両立
	(4)地域の強みを活かした産業の育成	①再生可能エネルギーを活かした産業振興 ②地理的・気候的な優位性を活かした産業振興
	(5)豊かな自然と共生する持続可能な社会の形成	①北海道の特性を活かした自然共生社会の形成 ②資源を最大限に利活用する循環型社会の形成
	(6)北方領土隣接地域等の振興	①北方領土隣接地域の安定振興 ②国境周辺地域・離島地域の振興
	(7)アイヌ文化の振興等	①アイヌ文化の振興等の推進 ②北の縄文遺跡・近代の開拓文化等の保全継承
<b>2. 北海道の価値を生み出す北海道型地域構造</b> ～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり	(1)デジタルの活用等による生産空間の維持・発展	①必要なサービスをデジタル技術で享受できる社会の形成 ②生産空間の暮らしを支える中心市街地の形成と賑わいの場の創出 ③広大な北海道に適したデジタル情報基盤の整備
	(2)多様で豊かな地域社会の形成	①多様な暮らし方・働き方の実現 ②人への投資と多様な人材・主体による協働・共創の展開
	(3)北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワークの形成	①広域分散型社会を支える交通ネットワークの形成 ②産業を支える物流基盤の整備と物流システムの維持・効率化 ③安全・安心な移動環境の確保 ④北海道新幹線の札幌延伸を踏まえた交通結節機能強化と札幌都心部の都市機能強化
	(4)生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり	①気候変動に伴い激甚化する水災害に対する北海道の地域特性を踏まえた流域治水の本格的実践 ②日本海溝・千島海溝型地震等の大規模災害に対する生産・社会基盤の強靱化 ③冬期災害や複合的災害に対する防災力の強化 ④デジタルを活用したインフラの維持管理及び技術開発の推進 ⑤災害時におけるライフライン機能確保のための施設の耐災害性強化、多重化・分散化 ⑥国家的規模の災害時におけるリスク分散